

# 伊勢崎JC

[群馬]

## 現役の会員拡大をサポート 近隣LOMシニアとの親睦も

### 伊勢崎

市は群馬県南東部に位置し、埼玉

県と隣接している地域です。2005年1月1日に、近隣町村との合併により人口20万人の新生、伊勢崎市が誕生しました。

古くは庶民の着物として全国的に親しまれた「いせさき銘仙」の産地として知られていましたが、現在は国内でもトップクラスの人口増加率と全国一の日照時間を背景に、農工商のバランスのとれた発展を遂げている地域です。伊勢崎JCは1964年に設立され、現在、現役会員64名で活動しています。本年は43周年を迎え、LOMスローガン「マイナスからではなく、明るいV.I.S.I.O.Nを描き行動しよう」を掲げて、多賀谷不二雄理事長をはじめ会員一丸となって地域づくりに邁進しています。

最近では、02年度に関東地区協議会会長として井下泰伸君を輩出し、また、昨年の衆議院選では現役理事の石関貴史君がメンバーとしては初めての国会議員となり、地域の発展に向けて活躍しています。

伊勢崎JCシニアクラブには、毎年度の卒業生が特別会員となり入会しています。シニアクラブへの入会は自由となっていますが、毎年ほぼ全員の卒業生がシニアクラブに入会し、現在125名のシニア会員が、会員相互の親睦を図るとともに、現役の支援を目的と

して活動しています。

組織は世話人制を採用しており、代表をはじめ役員20名(任期2年)で役員会議を運営しています。

シニアクラブとしての年間の活動は、定時総会(2月)、暑気払い(8月)、12月には忘年会(現役次年度役員を励ます会)を実施していますが、群馬ブロックシニアクラブ主催のブロックシニアクラブ定時総会並びに秋季懇談会などの対外的な活動に積極的に参加。かつて「同じ釜の飯を食った」近隣LOMシニアクラブメンバーとの親睦を深めています。

現役との交流を目的とした事業は、伊勢崎JC主催の新春祝賀パーティー(1月)、現役との交流会(6月)への参加に加え、シニアクラブ世話人代表



新入会員オリエンテーション講師



伊勢崎JC定時総会。世話人代表のあいさつ



じゃがいもゴルフコンペ

杯・理事長杯として年2回開催する「じゃがいもゴルフコンペ」を通じ、さらなる交流を深めています。特に周年では、記念事業等への物心両面にわたる援助を通じ、現役の活動に全力でバックアップを行います。

これから将来にかけて現役会員の減少などが問題となってきました。しかし、会員拡大につまみしても、オプザーバーの紹介などを通じてシニアクラブとしてのサポートをすることも、地域の発展のために伊勢崎JCの活動に対し、全力で支援していきたいと考えています。

伊勢崎JCシニア・クラブ

事務局長 岸 義雄